

会 議 録

1 会議名

令和5年度第3回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 報告事項（公開）

（1）ろばた館の利活用について

（2）視察研修について

2 その他事項（公開）

3 開催日時

令和5年6月29日（木）午後6時30分から午後7時20分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

1名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石井浩順、小林晴子、大門廣文、高宮秀博、竹内隆、徳田幸一、二宮香里、畑芳雄、原田秀樹、三浦元二
- ・ 事 務 局：桐木所長、本間次長（総務・地域振興グループ長兼務）、沢田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、石崎地域振興班長

8 発言の内容

【石崎班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 原田会長に議長を依頼する。

【原田会長】

- ・挨拶
- ・桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【石崎班長】

- ・会議録の確認者：畑委員、三浦委員
- ・配布した資料の確認

【原田会長】

- ・協議事項（1）ろばた館の利活用について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・資料 No. 1 に基づき説明

【原田会長】

- ・今までの議論について、皆さんと共有したい内容を資料 No. 1 に示した。
- ・私たちが地域協議会の中で協議する視点としては、ろばた館だけでなく、名立のまちづくりや地域づくりといった広い視点で考えていく必要があると思っている。
- ・ろばた館の食堂機能と温浴機能が廃止されるまで、スケジュール的に余裕はないが、まちづくりといった観点からも協議を進めていきたい。
- ・本日は、全体的な話でもよいし、具体的な話でもよいし、皆さんからご意見をいただきたい。
- ・資料にあるように、5人くらいの小グループに分かれてワークショップを行うという方法も考えていきたい。
- ・また、ろばた館を実際に利用している団体、今後の利活用を考えている団体など、ろばた館を支えてくださっている方々との協議も継続していきたいと思っている。
- ・皆さんから異論がなければ、小グループに分かれて話し合いを行いたいと思うがどうか。

【二宮委員】

- ・小グループに分かれての話し合いはいつから行うのか。今すぐということか。

【原田会長】

- ・話合いのテーマをまだ決めていないが、例えば「食堂を地域で活用できないか」という話があるので、「食や地域の特産品の活用」をテーマに話し合う分科会、または「地域性」をテーマに話し合う分科会といったように分けてはどうかと思う。
- ・ただ、まちづくりや地域づくりについては、地域分けがよいのか、それとも、生活や文化、農業といった部門分けがよいのか、まだ考えている段階である。
- ・名立まちづくり協議会でも部門別にグループをつくり、ワークショップを行っておられるので、そういったものを参考に地域協議会でも小グループに分かれて話し合いを進めていけたらよいと考えている。
- ・まちづくり、地域づくりについては、地域協議会の中で地域活性化の方向性を示してはいるが、その具体的な中身はまだ協議されていないので、この点に関しても残りの任期の中で協議を進めていきたい。
- ・地域協議会は実行部隊ではないので、私たちの協議結果を地域の中で活動している団体、つまり実行部隊の皆さんにお示しし、話し合いを行いたい。

【三浦委員】

- ・これまで自主的審議事項としてきた「ろばた館の存続に向けて」は終了し、今後は「ろばた館の利活用について」をテーマに自主的審議を行うということはよいと思う。
- ・今後の対応については、会長が言われたように地域協議会は実行部隊ではないため、議論しても議論で終わってしまうというリスクがある。
- ・ろばた館の利活用に関しても、実行部隊になっていただく団体との連携を密にしていけないと、具体的なものが見えてこないと思う。
- ・地域協議会での議論がまとまった後で、実行部隊に「後はお願いします」という訳にはいけないと思う。最初の段階から良い関係性を築いていかなければならない。

【原田会長】

- ・三浦委員が言われるように、地域協議会での協議と同時に、実行部隊である関係団体との話し合いも進め、今まで以上に密に連携を図る必要がある。

【三浦委員】

- ・ろばた館の食堂機能に関して、資料を見ると令和7年に「廃止」と「改修」とある

が、これは、「廃止後に改修して地域で活用するという方向性がある」という考え方でよいか。

- ・温浴は「廃止」のみで改修して活用する見込みはないのか。また、食堂の改修は市の事業として市の予算で改修を行うという考え方でよいか。
- ・そうであるならば、温浴に関して、福祉浴室「いたわりの湯」だけは残して、使えるようにしておくという可能性はないのか。また、この点に関して市で検討はされているのか。

【桐木所長】

- ・最終的な決定は地域協議会が提出した意見書に対する回答にあるとおり、温浴機能は廃止するという中で、福祉浴室に関しても実際に使われているという実態がない。最新の利用率などは把握していないが、私が承知している限りでは、福祉浴室も含め、温浴機能は廃止となっている。
- ・このような中で、機能廃止後もろばた館が中山間地域振興の中心施設として残っていくよう、食堂は廃止するが、厨房機能は地域で活用意向があれば残していく方向とした。
- ・本日は、ろばた館を所管している農村振興課がいないため、はっきりとは言えないが、温浴機能を一部だけでも残すという考えはないと思う。

【三浦委員】

- ・ろばた館の大きい浴室と福祉浴室は同じ設備でお湯を沸かしているのか。

【原田会長】

- ・源泉から引っ張った温泉を同じボイラーで沸かし、それぞれの浴室に給湯しているので、もしも福祉浴室だけを残すという話になれば、福祉浴室用の小さなボイラー等の整備が必要になってくると思う。

【三浦委員】

- ・今、会長が言われたように福祉浴室用に小さなボイラー等を整備した時の経費等も試算しながら検討しているのか。そこまでは検討せずに「温浴」という大きなくくりの中で判断されているのか。そのあたりも今後示してもらいたい。

【原田会長】

- ・名立区では、市外や海外の方との交流が行われていて、その方たちが温浴や食堂を

利用することで、交流の場としてろばた館が活用されてきた。

- ・長期間、大人数が利用しているという訳ではないが、今後も「交流の場」として活用することができると思う。
- ・例えば「食の場」として、名立の特産品を食堂で提供できないかという話が出ているし、地域協議会の中でも、方向性としてそのような話が出てきていたと思う。
- ・今後も分科会の中で、「こうしたい」、「こうした方がよいのではないか」という皆さんの思いがあれば、議論していきたい。
- ・それが実際に予算化できるのか、市に対して要望できるのかは次の段階であり、私たちが考えている「福祉の場」、「地域交流の場」、「食の場」といった中で検討を進めたい。
- ・温浴機能と食堂機能が廃止され、貸館として活用しただけでは、将来的にろばた館は全て廃止されてしまうと思う。そうならないためにも、地域で話し合い、ろばた館の活用方法を検討していきたい。
- ・具体化する際に壁は高いものがあると思うし、どのような結末になるかは分からないが、希望をもって話し合いを進めたいと思っている。
- ・また、ろばた館利活用検討会についても、状況を見ながら開催していきたいと思っている。前は、私と高宮副会長が出席したが、希望があれば委員の皆さんからも出席していただきたいと思っている。
- ・密接な会にしていくためにはどうしたらよいかという課題もあるので、委員の皆さんの知恵をお借りしなければならないと考えている。
- ・ろばた館利活用検討会の出席者の中にも、ろばた館がこうなった経緯をご存じの方とそうでない方がいて、その差を埋めるために一から説明する難しさも感じた。ただ、現実としてろばた館の現状を知らない方もいらっしゃるということである。
- ・今後の分科会の分け方や話し合う分野、テーマについては、事務局とも相談しながら決めていきたいと思う。
- ・なるべく早急に分科会形式での話し合いがスタートできるよう、準備を進めたいと思う。
- ・最後に、これまで自主的審議事項としてきた「ろばた館の存続に向けて」は、意見

書の提出及び市の回答を経て一つの方向性が出たことから終了し、今後は「ろばた館の利活用について」を名立区地域協議会の自主的審議事項として協議を進めることとしてよいか。

【各委員】

- ・異議なし

【原田会長】

- ・それでは、協議事項（１）ろばた館の利活用については以上で終了し、次に（２）視察研修について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・前回の会議では視察研修を行う時期についてご意見をいただき、１０月頃という話でまとまったが、具体的な視察場所までは話が進まなかった。
- ・地域協議会の最重要事項として、ろばた館の利活用について協議しているため、それに資する視察先を事務局で検討し、設定させていただきたいと考えている。
- ・例えば、実際に市の施設を地域で活用しているような場所など、皆さんの議論の助けになるような視察先を選定したいと思うがどうか。

【原田会長】

- ・私としては、温浴施設ではなく、地域の交流の場として活用しているような施設や、食をテーマに地域の特産品や加工品を提供、販売している施設を見学したいと思っている。
- ・このような施設に温浴施設が併設されていればよいが、単なる温浴施設を見学しても意味がないと思う。

【石崎班長】

- ・今の段階で具体的に決めることは難しいと思うが、今後の議論の中で少しでも方向性が見えてくれば、それに沿った形の視察先を検討したいと思う。

【原田会長】

- ・事務局から提案があったように、今後の議論の中で見えてきた方向性に沿った視察先を探すことでよいか。

【各委員】

- ・異議なし

【原田会長】

- ・ それでは、協議事項（２）視察研修についてはこれで終了する。
- ・ 次に次第４その他について、事務局や委員の皆さんから何かあるか。

【三浦委員】

- ・ 新聞報道があり、皆さんもご承知かと思うが、数年後に新潟労災病院の閉院が予定されており、これに伴い上越地域全体の医療機関が再編されるようだ。
- ・ 出てきたばかりの話なので、今の段階で色々と考えることは難しいと思うが、名立まちづくり協議会では月１回の外出支援を行っている。先般、５人の利用者と買い物に行ってきたが、その際に労災病院閉院の話になり５人中２人が労災病院に通院しており、皆さん、労災病院が閉院になった後の通院に関して不安を感じていた。
- ・ 外出支援に関して、名立区のアクションプランの中で、買い物に加えて通院の外出支援の可能性について具体的に考えていこうというタイミングであったので、時期的にはちょうどよかったのかもしれないが、通院の場合は同じ外出支援でも買い物のように利用者の皆さんが同じ時間に同じ目的地へ行って、同じ時間に帰って来るという訳にはいかない。
- ・ 皆さんそれぞれ通院先の病院が異なり、予約の時間も違えば診察に要する時間も異なるため、実現するにはハードルが高い。
- ・ 先ほどの話のように、労災病院の利用者は５人中２人と多く、また名立から労災病院までは路線バス１本で乗り換えもなく直通で行けるというメリットがある。
- ・ 電車を利用した場合も、直江津駅から割と近く、名立区にとっては通いやすい病院である。
- ・ 労災病院は名立区の高齢者にとって、とても利便性がよいが、閉院となれば上越病院や中央病院まで通うことになり、通院のハードルが高くなる。
- ・ この課題についても地域として考えていかななくてはいけないと強く思っているが、総合事務所や市としてもこのような視点で協議してほしい。

【桐木所長】

- ・ 今回の医療再編成の話はまだ把握できていないが、６月の市長定例会見の時には関係課から市長へ労災病院の説明資料が用意されていなかったもので、これから議論をスタートしていくのだと思う。

- ・今後話を積み上げていくと思うので、今回の話は担当課へ伝えたいと思う。

【徳田委員】

- ・夏になり、ポケットビーチが賑やかになる時期で、子どもたちが砂遊びなどをして
いるが、そんな中、他県から小型船をもってポケットビーチから船出するという状
況が多々ある。
- ・この小型船の乗り入れに規制をかけられるか。また、総合事務所として規制看板の
設置などができるものか。

【桐木所長】

- ・関係部署に確認したいと思う。

【二宮委員】

- ・以前もろばた館の利活用の話題の時に話をしたが、妊婦さんや赤ちゃん、小さな子
どもが使うもので、いらなくなったものをフリーマーケットのような形で、必要な
方に無料でお渡しできないかと思っているが、そもそも名立区に妊婦さんがあまり
いなくて現実的に難しいという話の中で、発想を広げて、ろばた館で「こども食堂」
をできないかと考え、名立の子どもを守り育む会の石井会長には事前に少し話をし
た。
- ・こども食堂というと、貧困対策という意味合いが強くなってしまいが、例えば、名
立のお米や野菜を使ったカレーなどをろばた館で月に1回でも提供し、お風呂にも
入ってもらえないかと考えているが、地域独自の予算で対応できるのか。

【原田会長】

- ・フードバンク上越を活用したり、食生活改善推進委員と協力するなど、方法は色々
考えられるので、今後検討する中で話し合っていきたい。
- ・私から1点、風力発電所の取り壊しが決まっている。7月から解体工事が始まると
聞いていたが、まだ具体的な話がない状況だ。
- ・話があり次第、いち早く地域の皆さんに伝えていただきたい。

【桐木所長】

- ・承知した。

【二宮委員】

- ・名立区内にゴミ箱が設置されていたと思うが、先日行われた「清走中」のイベント

に関連するものなのか。

- ・とても良い取組だと思うが、知らない間に始まり、知らない間に終わっていたような感じがあるが、周知されていたのか。

【沢田グループ長】

- ・今回の「清走中」のイベントに合わせて実行委員会の中で検討し、設置したものである。具体的にどの程度の周知を行ったかは把握していないが、名立区内の様々な施設に設置されていたものである。

【三浦委員】

- ・名立まちづくり協議会として、発言させていただく。
- ・今年も8月19日に「ふるさと名立・夏まつり」が開催される。また、8月12日からは4地区それぞれの会場で前夜祭も行われる。
- ・そのフィナーレとなる海上花火大会の協賛状況だが、昨年度は320万円のご協賛をいただいた。今年度は本日の時点で昨年比マイナス40万円ということで、昨年度並みのご協賛をいただいている状況である。
- ・ただ、花火に係る経費が昨年度より2割ほど値上りしていて、昨年度並みの予算では難しいという現状であるため、予算としては昨年度より60万円ほど多く見積もっており、あと100万円ほど足りない状況である。
- ・協賛金の締切りは明日までだが、例年の状況をみると、予算額並みのご協賛が集まるのではないかと考えている。
- ・この場を借りて、ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。また、今後も本番に向けて地域の方からご協力いただきたい。

【石井委員】

- ・ろばた館の冷房が壊れていて、利用せずに帰る人もいると聞いているが、いつ頃修理が終わるのか知りたい。

【桐木所長】

- ・総合事務所では具体的な日程を把握していないが、所管課の農村振興課で対応中であることは承知している。

【石崎班長】

- ・令和5年度第4回地域協議会の日時：令和5年7月27日（木）

【原田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 5504）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。